

## つくば3Eフォーラム委員会 第3回バイオマスタスクフォース会合報告（速報版）

日時：平成22年6月22日（火） 14:00～17:05

場所：農研機構農村工学研究所 第1会議室（本館1F）

参加者：19名

目的：情勢認識の共有，TFメンバーによるアイデア出し，第4回会合（セミ・オープンWS）へ向けたヒントを得るためのミニWSの実施。

議題とスケジュール：

14:00～14:10 座長挨拶と自己紹介

14:10～14:20 21年度活動報告，22年度活動計画案（柚山）

14:20～14:25 つくば市バイオマス賦存量調査の結果報告（清水）

14:25～14:40 WS①の方法の説明（清水），カード書き作業

14:40～15:35 アイデア共有のためのとりまとめ（一覧表作成）

15:35～15:50 休憩（電気自動車見学，集合写真撮影）

15:50～16:30 グループ分け，WS②（グループ毎のテーマ討論）

16:30～16:55 グループ発表会

16:55～17:05 まとめ（第4回TF日程と準備，今後のスケジュールと事務連絡を含む）

（座長挨拶要旨）

つくば市のバイオマス利活用は，最先端の科学技術を用いた社会実験と，多くの市民が協働で実施できる取り組みの両方を，独立して実施していきたい。今回は，セミ・オープンとする第4回会合の準備をかねてミニWS形式で実施する。農工研の清水夏樹さんにコーディネータとして手伝ってもらおう。

（ミニWSについて）

平成21年度に行った「つくば市バイオマス基礎調査」では，第1ラウンド（つくば市のバイオマス賦存量の概算とバイオマス種類別重要度，調査進捗度のランク分け），第2ラウンド（利活用可能性についての情報収集とアイデア出しブレインストーミング）を行いました。今回のミニWSでは，第2ラウンドをTFメンバーによってさらに進めるため，各自のアイデアをカードに記し，ホワイトボード前に全員集まって，バイオマス種類別に「生産・発生」「収集・輸送」「変換」「利用」に分けて整理し，アイデアを共有しました（WS①）。次に，WS②では，WS①の様子を踏まえ，「生ごみ・廃食用油」，「藻類」，「木質バイオマス」のグループをつくり，それぞれ，蓬田さん，羽田野さん，岡本さんに責任者になってもらいました。各グループでは，WS①で出たアイデアをつないだり，将来に向けて広げたり，解決しなければならない課題やまず取りかかるべきアクションなどについて話し合いが行われました。最後にもう一度全員集まって，各グループでの討論を報告しあいました。

（第4回タスクフォース会合について）

セミ・オープンWS形式で実施します。企画は，3Eカフェ，つくば市役所，農工研で案を作り上げていきます。8月4日の午後，つくば市役所（新庁舎）で開催します。

アルバム



WS①のカード書き作業



WS①アイデア提出



WS①アイデア整理



電気自動車見学（休憩時間）



WS②グループ討議



WS②生ごみ・廃食用グループ



WS 藻類グループ



WS②木質バイオマスグループ

## 配布資料（抜粋）

WS①つくば市のバイオマスの賦存量・現在の利用状況を踏まえ、

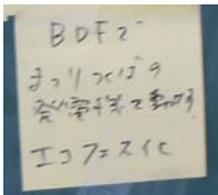
「つくば市バイオマスの今後の利用可能性」を探る！

（アイデア出しと、メンバー間のアイデア共有によるネットワーク化）

**宿題：つくば市のバイオマスの利用可能性アイデアをリストアップする**

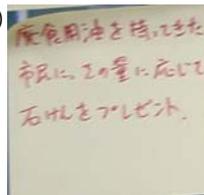
・アイデアは、1つ1つシンプルに（箇条書きをイメージ）。

例 A)



BDFでまつりつくばの発電機を動かすエコフェス化

例 B)



廃食用油を持ってきた市民に、その量に応じて石けんをプレゼント

- ・1人3つ以上のアイデアを考えておいてください(他のメンバーと重なってもだいじょうぶ!)
- ・以下のまとめ方を意識して、①バイオマス種類ごと、②生産(発生)～利用の段階ごと、にリストアップを試みてください。この分類に入らないもの（種類 or 段階横断的なもの、その他のアイデア）も別途まとめるので、リストアップしてみてください。

まとめ方（WS①の作業）

バイオマス種類 (データ資料のNo. 1~14)	生産・発生	収集・輸送	変換	利用
家畜ふん尿				
生ごみ				
...				
廃食用油		例 B		例 A
資源作物（藻類・なたね・ソルガム等）				

<考え方のヒント>

- ※小さな取り組みでもかまわない（将来大きく育てられるかも?）。
- ※簡単な技術・仕組みから高度な技術・仕組みまで、なんでもよい。
- ※今ある利用法やユーザーから、個別規模やユーザー数の拡大を図れそうなものを探す。
- ※市の将来像(政策目標)やニーズを実現するために、バイオマスを使うことはできないか? という発想もあり。
- ※現在利用されているもの、利用されていないものの課題を解決するアイデアは?

<当日の作業の進め方>

1. 15分程度で、カード(7cm×7cm)にアイデアを書き出す（サインペンで大きくシンプルに）。
2. 自分のカードを持って、ホワイトボード前に集合。
3. 全員でカードを出し合い、アイデア一覧表を作成する。このとき、他の人のアイデアを受けて「新しいアイデア」が浮かんだら、手元でカードを作成する(60分)

## WS②テーマ別討論：つくば市バイオマスの利活用アイデアを具体化する！

<作業の進め方>

1. WS①で出たアイデア一覧表から、2～3のテーマを決める。テーマ別にグループに分かれる。
2. つくば市のバイオマスの利活用アイデアを具体化するための方策を議論する(40分)。

たとえば・・・

- ・WS①で追加に思いついた新しいアイデアを表に付け加える
  - ・アイデア実現のために解決しなければならない課題を確認する
  - ・「技術」の実現に必要な「仕組み」⇔「仕組み」の実現に必要な「技術」
  - ・短期・中期・長期的な取り組みは？（優先順位を決める，現時点で「ムリ」と思っても除外しないでポジティブ思考！）
3. 全員で集まり，グループで話し合った内容を発表（1グループ5～7分）

### 平成22年度活動計画(案)

- ・つくば市バイオマスタウン構想策定への協力

手段として、TFメンバー及び拡大メンバーでのワークショップを開催。それぞれ第3回，第4回TF会合と位置づける。3Eカフェと共催。8月までに実施。

- ・筑波大学が中心になって，藻類からのオイル抽出の研究開発をしているので，第5回TF会合と位置付けて，TFメンバーで見学させていただき，周辺技術を含めて，フィールドへ展開するための方策を議論する。このとき，ロードマップについても議論。9月に実施したい。

- ・特定非営利活動法人NPOプラザ・ねこねっと，つくば・市民ネットワークなどこれまでのイベント等で知り合った関係機関との連携（広報して，第4回TF会合と位置づける拡大メンバー版ワークショップの参加者を募る。よって市民協働につなげる。）

- ・つくば3E全体への貢献（実験タウンDコンセプトづくりなど）

- ・12月の第4回つくば3Eフォーラム会議への貢献。このとき，ロードマップ案を提示。

- ・エネルギーシステム・評価TFとの連携（何を渡せるか相談する）

### お知らせ

○ワークショップ「バイオマスタウン設計・評価支援ツールの開発」（10/27-29，つくば）

○バイオマスエキスポ2010（11/17-19，東京ビックサイト）

<http://www.ecodesign-inc.com/biomass/>

○藻類産業創成コンソーシアム発足

○第4回つくば3Eフォーラム（12/12）

○「実験タウンDコンセプト策定ワーキンググループ」

実験タウンDのコンセプト及びエネルギーシステム・評価TFを中心とした各タスクフォースの重点課題，方向性，段階的目標などについて，つくば3Eフォーラム全体の道筋となるようまとめ，委員会へ提案する。また，12月に開催される第4回つくば3Eフォーラム会議にてその内容を発表する。